平成２９年度愛媛大学授業料免除申請のしおり

愛媛大学教育学生支援部学生生活支援課

次の１**免除対象者**に該当すると認められる方に，本人の申請に基づき選考の上，授業料の年間分又は半期分の全額又は半額を免除することがあります。免除を希望する方はこの要領により申請手続をしてください。

授業料免除申請は，学生本人が申請者となります。家族の勤務状況及び収入状況を把握したうえで申請書類を提出してください。申告漏れや内容の虚偽が判明した場合及び書類を期限までに揃えることが出来ない場合は，選考から除外します。

１ 免除対象者

次のいずれかに該当する方を免除対象者とします。

(1) 経済的理由によって授業料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる（申請のしおり P.7 の学力基準を満たしている）者

(2) 授業料納付期限６ヶ月以内（入学時申請分にあっては，入学前１年以内）に学資負担者が死亡又は本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことが認められる者

※平成２９年４月時点で修業年限以内であること。原則として修業年限を超えた者，留年した者は申請できません。また，研究生，聴講生等も申請できません。

２ 申請期間

前期(年間)申請：３月下旬（４月新入生：４月上旬）後期申請：９月下旬

所属により異なりますので，掲示板もしくは HP にて詳細を確認してください。

愛媛大学 HP トップ＞大学生活＞授業料・奨学金＞入学料免除および授業料免除等

https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/scholarship/exemption/

３ 申請書類の提出場所

４**所属別担当窓口**が指定する場所へ提出してください。詳細は掲示板及び HP にてお知らせします。

郵送，ＦＡＸ，保証人以外の代理人による提出は受け付けません。

４ 所属別担当窓口

所属学部・研究科等	担当窓口
法文学部，教育学部，社会共創学部，理学部， 工学部，医学部１回生，農学部１回生，ＳＳＣ， 法文学研究科，教育学研究科，理工学研究科	教育学生支援部学生生活支援課 学生生活支援チーム（中央図書館１階西側） TEL：089-927-9169 MAIL：menjo@stu.ehime-u.ac.jp
医学部２～６回生	医学部学務課　学生生活チーム TEL：089-960-5177 MAIL：mgakumu@stu.ehime-u.ac.jp
医学系研究科	医学部学務課　大学院チーム TEL：089-960-5868 MAIL：mgakumu@stu.ehime-u.ac.jp
農学部２～４回生，農学研究科	農学部事務課　学務チーム TEL：089-946-9806 MAIL：agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp
連合農学研究科	農学部事務課　連合農学研究科チーム TEL：089-946-9910 MAIL：rendai@stu.ehime-u.ac.jp

大学から申請者へ電話する場合がありますので，所属する担当窓口の電話番号を携帯電話に登録し，着信があった場合は必ず応答または折返し電話をするようにしてください。

また，大学から申請者（授業料免除申請書（様式１-①）に記入のアドレス宛）へメールする場合がありますので“@stu.ehime-u.ac.jp”ドメインからのメールが受信できるよう設定をしてください。

5 **申請結果の決定時期**

前期(年間)申請：７月上旬　後期申請：１１月中旬

申請結果が出るまで授業料の納付は猶与されます（授業料引落口座を登録している場合，結果が出るまで引落しは行いません。）**授業料を納付すると，申請を辞退したことになります**のでご注意ください。

結果通知は，申請時に記入してもらう封筒により申請者に送付します。半額免除及び不許可だった場合は，同封の案内により速やかに授業料を納入してください。

〔納付期限　前期：平成２９年７月下旬　後期：平成２９年１１月下旬〕

※前回の申請結果が全額(半額)免除であり，申請者の世帯の収入状況が変化していなかったとしても，今回同様の結果になるとは限りませんのでご注意ください。

6 **提　出　書　類**　次の１～８の書類を提出してください。

※ 提出した申請書類の返却，貸出及び閲覧はできません。提出前に必ずコピーを取ってください。

申請者全員が必ず提出する書類

提　出　書　類	留　意　事　項
１.授業料免除申請書（様式１-①）	記入要領を参照し，前期(年間)申請は平成２９年４月１日現在，後期申請は平成２９年１０月１日現在で，**申請者及び学資負担者と同一生計家族**の状況を記入すること。 **同一生計家族･･･**①申請者の学資負担者(父母等)と同居している者②父母の扶養親族で就学又は病気･介護療養のため別居している者③単身赴任中の学資負担者等 申請者の兄弟姉妹等で，就職や結婚等により学資負担者とは別居・別生計の者は同一生計家族に含まないため，記入しないこと。
２.家庭状況申告書（様式１-②）	
３.８２円分の切手（結果通知用）	封筒は申請書受付時に配布するので，切手のみ用意すること。
４.住民票謄本（原本） **（発行３ヶ月以内）**	**家庭状況申告書(様式１-②)**に記入する**同一生計家族全員分**(「世帯全体のもの」という記載があるもの)を提出。 ･**戸籍**謄本は不可。 ･就学者の兄弟姉妹等で在学証明書等の提出がある場合は，住民票の省略可。 ･住民票上は学資負担者と同居であるが，実際は別居かつ別生計の家族がいる場合は，その旨を記入した**申立書（様式５）**と，現住所がわかる書類(賃貸契約書，公共料金の領収書等(写))を提出。
５.平成29年度(平成28年分)所得証明書(原本) ※市区町村役場によって名称が異なります。 **・市県民税課税(所得)証明申請書** **・所得課税証明書**　等 ※**平成28年度(平成27年分)は不可。** ※源泉徴収票,確定申告書とは異なります。源泉徴収票,確定申告書を提出する場合も所得証明書を提出してください。	◆提出が必要な家族 家庭状況申告書(様式1-②)「就学者を除く同一生計家族欄」に記入する家族分。 ･**申請者本人分(学部新1回生除く)**もアルバイトの有無に関わらず**必要**。 ･**無収入の方**(専業主婦,無職,年金生活者)も**必要**。 (所得0円の証明のため。非課税証明書でも可。) ･申請者の兄弟姉妹等の未就学者及び就学者及び平成28年3月まで就学者だった方は不要。 ･予備校，語学学校等，「各種学校」の学生については提出が必要。 ◆注意事項 平成29年度(平成28年分)の所得証明書は，おおむね**平成29年5月下旬以降※**，各市区町村役場で発行されるため，前期(年間)申請では，**所得証明書を除く**申請書類を先に提出し，平成29年度所得証明書の発行が開始され次第，担当窓口へ提出。 ※目安:住民税の全額を給与天引きで納付されている方は5月下旬。 納税通知書または口座振替で納税されている方，非課税の方は6月上旬。 地域により異なるので各市町村役場で確認のこと。 ◆所得証明書の提出期間 **前期(年間)申請 ： 平成29年5月19日(金)～6月15日(木)** 地域によっては，発行開始日から提出期限まで数日のところもあるので注意すること。また，発行開始日が提出期間以降になる場合は，事前に申し出ること。**無連絡で期限までに提出のない場合は，選考から除外することがあります。** 後期申請:申請書と同時に提出 提出時は，次ページ「【要確認】所得証明書提出時の注意事項」も参照。

【要確認】 所得証明書提出時の注意事項

「所得証明書」と「収入に関する書類（源泉徴収票や確定申告書等）」は，どちらも提出が必要。

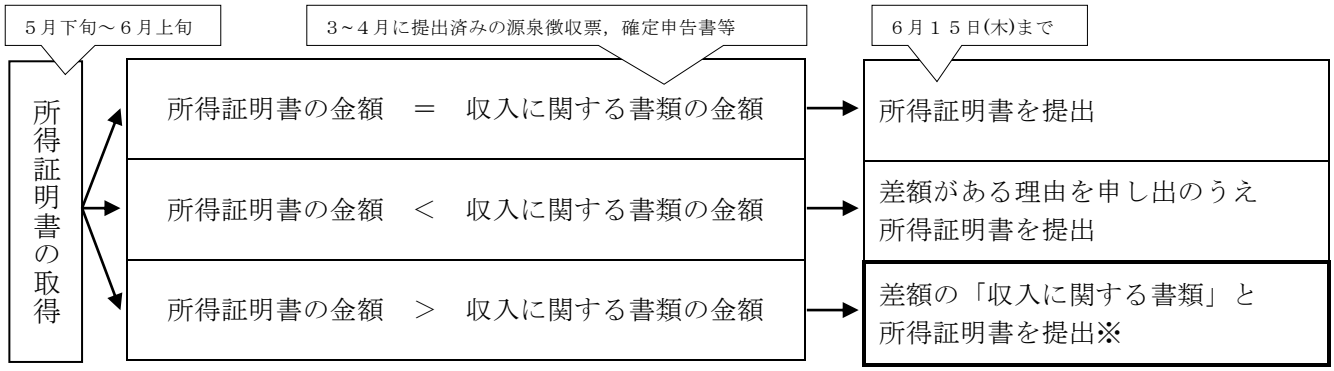
（例）

家族構成：本人(アルバイト)，兄(無職)，父(自営業)，母(パート)，祖母(年金)

提出書類：本人(源泉徴収票等)，兄(無職等の申立書(様式 13))，父(確定申告書等)，母(源泉徴収票等)
祖母(年金支払通知書)，**家族全員(本人・兄・父・母・祖母)の所得証明書**

・平成 29 年度(平成 28 年分)所得証明書を取得したら「所得証明書の金額」と提出済みの「収入に関する書類の金額」に差がないか確認し，不足があれば追加で書類を提出すること。基本的に「平成 29 年度(平成 28 年分)所得証明書」の金額は「平成 28 年の収入に関する書類（源泉徴収票や確定申告書等）」の金額と一致する。
（年金については金額改定があった場合，振込通知書から計算した金額と所得証明書の金額は異なる）
・複数の年金を受給している場合，振込通知書の提出漏れがないよう特に注意すること。
・所得証明書の金額の内訳が不明の場合，発行元の各市区町村役場にて確認すること。

◆前期(年間)申請の場合



※ 差額の収入に関する書類が提出できない場合，選考から除外することがあります。

その他，該当者が提出する書類

6．収入に関する書類	3～6ページに記載の項目で，申請者本人と家族に該当するものがある場合は，必要書類をすべて提出。
7．特別控除等に関する書類	
8．その他の書類	

■ 収入に関する必要書類

学生本人と同一生計の家族に，下記の対象者に該当する人がいる場合，すべての収入に関し，**所得証明書に加え**，必要書類を提出してください。ただし，就学者である兄弟姉妹のアルバイト収入に関する書類は不要です。前期(年間)申請の場合，所得証明書の金額と差異がないか確認する際必要になるので，必ずコピーをとっておくこと。

対象者		必　要　書　類	発行機関等
給与所得	給与所得者 （会社員，公務員，パート，アルバイト 等） 申請者のアルバイト含む	**○平成２８年分源泉徴収票**（写） ・平成２８年中のすべての給与収入に関する源泉徴収票を**（別紙１）**に貼り付けて提出。 ・ 源泉徴収票を提出できない場合は勤務先で **支払(見込)証明書(様式２)**に証明してもらうか，直近３ヶ月分の給与明細を提出。 ・ 申請基準日以降雇用が変更になる勤務については，**支払(見込)証明書(様式2)**に収入見込を証明してもらうこと。 ・ 愛媛大学での TA 等の学内ワークに対する報酬についても必要。	勤 務 先

	平成 28 年 1 月 1 日以降，新規に就職した者（パート含む）	○直近３ヶ月分の給与支給明細書（写） ３ヶ月分の給与支給明細書がない場合は，勤務先に支払（見込）証明書（様式2）に収入見込を証明してもらうこと。平成２９年４月以降の就職が決まっている場合は，年間見込収入がわかる書類（採用通知，求人票等）でも可。	勤 務 先
	平成28年1月1日以降転職または退職した者（パート含む）	○転職・退職等申立書（様式８） ○転職・退職等申立書（様式８）の記載に関する証明（源泉徴収票または給与支給明細書（写）等または支払（見込）証明書（様式2））	勤 務 先
	児童扶養手当・特別児童扶養手当	○児童扶養手当証書（写）または 認定通知書（写） ○特別児童扶養手当証書（写）または 認定通知書（写）	市区町村役場 等
	雇用保険受給者	○雇用保険受給資格者証（一面と三面）（写）	ハローワーク
	傷病手当受給者	○傷病手当金支給決定通知書（写）	年金事務所
	年金・恩給受給者 (個人年金保険を含む)	○年金受給一覧表（様式３） ○年金支払（振込）通知書（写） ○年金改定通知書（写）　} いずれか最新のもの。 ・複数の年金を受給している場合は，すべての年金についての書類を提出。 ・遺族年金，障害年金，農業者年金，恩給，個人年金等も含む。	日本年金機構 総務省恩給局 保険会社 等
	生活保護受給世帯	○生活保護世帯各種扶助金額計算書（様式7） ○生活保護決定（変更）通知書（写） 直近１年間分の４，１１，１２月分及び受給額変更月のもので，扶助される金額がわかるもの。	保健福祉事務所 等
区　分		**必　要　書　類**	**発行機関等**
給与所得以外の所得	自営業 商・工・農林・水産業 不動産業 雑所得（利子配当） 等	◆確定申告をしている場合 ○平成２８年分確定申告書第一表と第二表（控）（写） ＋青色申告の場合は決算書（写），白色申告の場合は収支内訳書（写） ◆市民税・県民税の申告をしている場合 ○平成２９年度市民税・県民税申告書（控）（写） ◆平成２８年１月以降に転業・開業した場合 上記の「確定申告書」または「市民税・県民税申告書」に加えて， ○転業・開業による所得（見込）申立書（様式１１）を提出。	税　務　署 市区町村役場

■ 特別控除等に関する必要書類

下記の区分の特別控除を希望する場合は，該当の必要書類を提出するとともに，「家庭状況申告書」（様式１−②）右下の特別控除関係欄に必要事項を記入してください。未記入の場合，控除対象とならない場合があります。

区　分	必　要　書　類	発行機関等
母子・父子世帯	○母子・父子世帯申立書（様式１０） ○児童扶養手当受給証明書等（写）（受給者のみ）	申請者の父 母 等
障がい者のいる世帯	○障がい者手帳（写）	市区町村役場
長期療養者のいる世帯 ※治療を６ヶ月以上継続し，申請時も療養しており，医療費を払っている場合のみ	○医師の診断書 ・同一病名で複数の病院を受診している場合は，附記欄に受診歴のある病院名を記入してもらうこと。 ○長期療養に伴う特別支出申立書（様式９） ・直近１年間の医療費と，医療費に対し補填を受けた金額を月ごとに集計。 ○（様式９）に記載した医療費の領収書（写）及び医療費に対し補填を受けた場合はその支払明細書（写） ・控除の対象となるのは病名と関連のある領収書(健康保険適用分)。 ・領収書は月ごとに整理し（別紙２）に貼付。未整理・不鮮明のものは控除の対象にならないことがあるので注意。	医 療 機 関 市区町村役場

本人又は学資負担者が災害を受けた世帯 (新入生は授業料納期前1年以内，その他は納期前半年以内)	○被災状況申立書（様式１４） ○罹災証明書及び被害金額を証明する書類 ○保険金等支払い(見込)額を証明する書類	警　察　署 消　防　署 建築業者等
予備校・「各種学校」等の在学者がいる世帯	○「在学証明書」または ○卒業した高校等で補修を受けていることを証明する書類	在 学 校
高校生以上の就学者がいる世帯 (愛媛大学生の場合は不要)	◆高校・私立大学・高専・専修学校生の場合 ○在学証明書※ ○生徒(学生)証 (写) ※ ○在学及び授業料免除状況証明書（様式４）※ ｝いずれか1つ ・A4 より小さい場合は（別紙２）に貼付。 ◆国立大学生の場合 ○在学及び授業料免除状況証明書（様式４）※ ・兄弟の通う大学の授業料免除窓口で証明をしてもらい提出。 ※兄弟等が新入生の場合は平成 29 年 4 月 1 日以降の証明を提出。 前期(年間)申請の場合は他の申請書類を先に提出し，**4 月 14 日(金)までに**在学証明書等を提出。	兄弟等の 在 学 校
主たる学資負担者が単身赴任中の世帯	○学資負担者の単身赴任等に伴う特別支出申立書（様式６） ○別居先の住居費及び光熱･水道費の領収書 (写)（直近１年間） ○単身赴任等が確認出来る書類（辞令等 (写)）	勤務先等

■ その他の書類

区　　分	必　要　書　類	発行機関等
１８歳以上の無職者	○無職等の申立書（様式１３） ただし就学者，専業主婦，年金生活者，雇用保険受給中の方は除く。	家計支持者
独 立 生 計 者	○独立生計者申告書（様式１２） ○本人(配偶者含む)が被保険者である**健康保険証** (写) ○本人(配偶者含む)の**源泉徴収票** (写) または**確定申告書**(控) (写) 等 「大学院・法文学部夜間主コースの社会人学生」で次の条件**すべて**に該当する場合は，独立生計者として申請可。（本人及び配偶者の総所得金額で判定） 1.所得税法上，父母等の扶養親族でない者 2.父母等と別居している者 3.本人（配偶者含む）に生活できる十分な収入があり，その所得証明書が発行される者（貸与奨学金は収入として認められない）	税　務　署 市　区　町 村　役　場
給付奨学金受給者 （申請者及び配偶者が平成 29 年度受給する場合）	○**奨学金採用通知** (写) ・ 平成 29 年度受給額のわかるもの ・ **貸与**奨学金（日本学生支援機構等）については提出**不要**。	奨学団体
学資負担者の死亡 （新入生は授業料の納期前１年以内，その他は納期前半年以内）	○**除籍抄本**，**死亡診断書**，**埋葬許可書**のいずれか１つ (写)	市区町村役場 医療機関 勤務先　等
家計支持者や独立生計者が預貯金や他の人からの送金で生活を賄っている場合	○**送金の金額等がわかるもの**又は**通帳**(写)等 ・ 家計支持者及び独立生計者が，預貯金や他人からの送金で生活を賄っている場合に必要です。通帳の名義と申請前１年間の送金や蓄えがわかるものを提出して下さい。 ・家計支持者と別居していても，被扶養者となっている申請者は不要。	
留年・修業年限超過者等で特別な事情(留学，病気，等)がある者	○最短修業年限超過者等の授業料免除申請事由調査書（様式１５） 原則，留年または修業年限を超過している場合は申請不可だが，それが特別な事情（留学，病気等）によるものであれば修業年限を超えて１年まで申請	

	可能。該当者は事前に担当窓口へ申し出ること。 ※指導教員の所見が必要になるので早めに申し出ること。	
他大学からの本学大学院新入生	**○出身大学（又は大学院）の成績証明書**	出 身 大 学
特に説明を要する事項がある場合(申請理由除く)	**○申立書（様式５）** 申請理由は**授業料免除申請書**（**様式１-①**）に記入すること。	
そ の 他	**○大学が必要と認めた書類**	

7 注 意 事 項

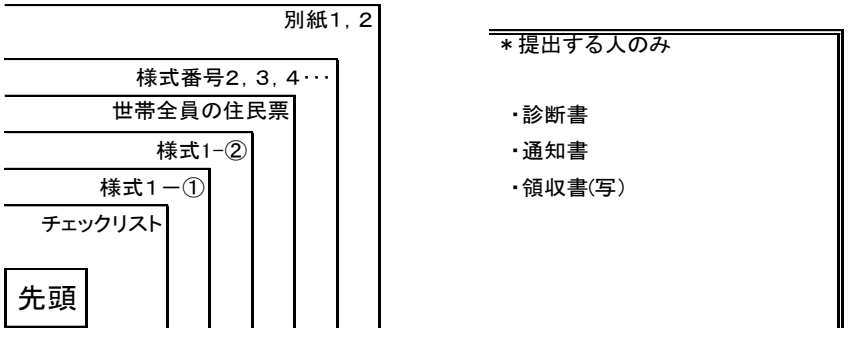
- 授業料免除は基本的に「前期分」「後期分」の同時申請（＝「年間申請」）で受付けます。年間申請を行った場合，後期に再度申請する必要はありません。ただし選考は「前期」「後期」でそれぞれ行うため，結果が異なる場合があります。前期申請の結果が「学力基準外」による「不許可」の場合，後期も同様の結果となります。
- 次の1，2にあてはまる場合は「前期申請」または「後期申請」（授業料免除申請書(様式1-①)の申請区分「前期」または「後期」に○）を行ってください。
  1. 年度途中に休学・復学・卒業（修了）・退学を予定している者
  2. 前期中に家計支持者の死亡・失職等により家計に急変があった者（後期申請のみ）
- 愛媛大学在学の兄弟姉妹等で申請する場合，原本の提出が必要な書類は，兄弟姉妹のうち1人が原本を提出していれば，他の兄弟姉妹等はコピーの提出でかまいません。
- 申請者は平成 28 年1月以降の家族の勤務状況（就職/退職），収入状況を説明できるようにしておいてください。
- 申請時に揃わない書類があれば申請時に申し出たうえ，入手次第提出してください。
- 申請書提出後，家族の転職や通学区分の変更等，家計状況に変更が生じた場合は，速やかに申し出てください。後日，未申告の内容が判明した場合や，それらに関する書類等を提出できない場合には，選考から除外することがあります。
- 結果が出るまでに休・退学をする場合や，申請者の連絡先（電話番号・メールアドレス）等の変更があった場合は，速やかに申し出てください。
- 申請書提出後に書類不備や確認が必要な事項が判明した場合，追加で書類の提出等を指示することがありますので，大学からの連絡には速やかに応答してください。（**申請のしおり P.1 の担当窓口の電話番号を携帯に登録しておくこと**）
- 申請書提出後であっても，追加で指示された書類を指定された期限までに提出しなかった場合や大学からの連絡に応じなかった場合は，書類不備として審査の対象から除外します。また，申請書類の記載内容等が事実と異なることが判明した場合，免除の許可を取り消すことになりますので十分注意してください。

結果通知用封筒について

受付時に封筒を渡しますので，持参した 82 円切手を貼付し，住所，氏名，学生証番号を記入し提出してください。転居予定の人は必ず申し出てください。

提出時の書類の並べ方

・提出書類は下の図のように並べ，所定様式以外のものは最後につける。
・横向きの書類は，縦にしたとき書類の上部が左側にくるよう並べる。
・診断書（写）や領収書（写）を提出する場合は，月ごとに整理する。
・Ａ４より小さい書類は，別紙１，２もしくはＡ４用紙に貼付する。



8 選 考 基 準

授業料免除の選考は，『愛媛大学学則』「愛媛大学授業料及び寄宿料免除等取扱規程及び細則」「東日本大震災特例規程」「愛媛大学授業料免除選考基準」に基づき実施され，基準該当者は納付すべき授業料の半額が免除されます。ただし，授業料免除実施可能額に応じて全額免除または免除不許可となる場合があります。

（1）学力基準

次の区分による学力基準を満たしていなければ，家計基準に関わらず選考の対象となりません。また，特別な理由なく留年した者，所定の修業年限を経過してもなお卒業・修了の認定が得られない者は，選考の対象となりません。休学は特別な事情（病気療養，留学等）があれば選考の対象となる場合がありますので，事前に申し出てください。

所　　属	学年	標準取得単位	成績評価点(計算式は次ページ)	成　績　評　価　の　対　象
学部 （法，教，社，理， 医，工，農，SSC）	1年	——	3．2以上 ※1	評定平均値が得られない者は，入試成績が学部の学科における試験区分ごとの合格者の上位2分の1以上の者
学 部 （法，教，社，理， 工，農，SSC）	2年 ～ 4年	※2	2．1以上 ※2’	前年度までの学業成績
学部 （医）	2年 ～ 6年	——	————	進級をもって認定
修士課程 （法，教，農）	1年	——	2．1以上	卒業大学の学業成績
	2年		2．2以上	大学院修士課程1年次の学業成績
修士課程 （医・看）	1年	——	2．1以上	卒業大学の学業成績
	2年		2．2以上	大学院修士課程1年次の学業成績
修士（博士前期）課程 （理工学）	1年	——	2．1以上	卒業大学の学業成績
	2年		2．2以上	大学院博士前期課程1年次の学業成績
博士後期課程 （理工学）	1年	——	2．2以上	大学院博士前期課程の学業成績
	2年			大学院博士後期課程1年次の学業成績
	3年			大学院博士後期課程1・2年次の学業成績
博士後期課程 (連合農学研究科)	1年	——	2．2以上	大学院博士前期課程の成績
	2年 3年		————	主指導教員が優秀と認めた者
博士課程 （医・医）	1年	——	2．1以上	卒業大学の学業成績
	2年 ～ 4年	——	————	主指導教員が優秀と認めた者
2年次編入学 （医学部除く）	2年	——	————	編入前大学の換算された単位をもって認定
	3年	※3	2．1以上 ※2’	前年度までの学業成績
	4年	※4		
3年次編入学 （医学部除く）	3年	——	————	編入前大学の換算された単位をもって認定
	4年	※5	2．1以上 ※2’	前年度までの学業成績
私費外国人留学生	1年	——	————	指導教員の所見をもって認定
	2年次 以上	日本人学生と同様の基準		

※1　高等学校成績調査書の評定平均値。母子・父子家庭，生活保護世帯の学生で評定平均値が3．2に満たない者は，入試成績が学部・学科における試験区分ごとの合格者上位2分の1以内であれば申請可とする

※2　卒業までに取得すべき単位数×既在学年数÷所定の修業年限

（例）卒業までに取得すべき単位数が124単位の場合，2年次31単位，3年次62単位，4年次93単位

※2’ 母子・父子家庭，生活保護世帯の学生については2．0以上に緩和する

※3　必要単位 ＝ $\dfrac{\text{卒業までに修得すべき単位数（※2参照）} \quad - \quad \text{換算された単位数}}{3}$

※4　必要単位 ＝ $\dfrac{\text{卒業までに修得すべき単位数（※２参照）　－　換算された単位数}}{3}$ × 2

※5　必要単位 ＝ $\dfrac{\text{卒業までに修得すべき単位数（※２参照）　－　換算された単位数}}{2}$

成績評価点 ＝ $\dfrac{\text{（秀の単位数）×４＋（優の単位数）×３＋（良の単位数）×２＋（可の単位数）×１}}{\text{（秀・優・良・可）の合計単位数}}$

※合格，認定，不可の単位は含めません

自己確認用　　成績評価点

$\dfrac{（\quad\quad）×4＋（\quad\quad）×3＋（\quad\quad）×2＋（\quad\quad）×1}{（\quad\quad）}$ ＝ [　　]

○小数点第３位切り捨て　　例）２．０９９ → ２．０９

○学力基準を満たしていない場合は家計状況に関わらず「免除不許可」となります。

（２）収入基準

世帯構成や通学区分等により異なるので一概にはいえませんが，収入限度額（税込みの年間総収入額）がおおむね下表の金額以下の世帯が免除対象になります。ただし，定められた予算内で選考を行うため，収入限度額以下であっても，免除になるとは限りません。

授業料免除における収入限度額表

区　分	世帯数	給与所得者世帯※１	給与所得以外の世帯※２	世帯の構成例
大　学 学部生	１人	約３１７万円	約１６０万円	本人（私費外国人留学生）
	２人※3	約３９８万円	約２１７万円	親（１人）・本人
	３人	約３６０万円	約１９０万円	両親・本人
	４人	約４１８万円	約２３１万円	両親・本人・公立高校生
	５人	約４６１万円	約２６１万円	両親・本人・公立高校生・中学生
	６人	約４７５万円	約２７１万円	祖母※4 ・両親・本人・公立高校生・中学生
	７人	約４８７万円	約２７９万円	祖父母※4 ・両親・本人・公立高校生・中学生
大学院修士・ 博士前期課程	１人	約２６５万円	約１２４万円	本人（独立生計）
	１人	約３２８万円	約１６８万円	本人（私費外国人留学生）
	２人※3	約４１５万円	約２２９万円	親（１人）・本人
	３人	約３８１万円	約２０５万円	両親・本人
	４人	約４４２万円	約２４８万円	両親・本人・公立高校生
	５人	約４８８万円	約２８０万円	両親・本人・公立高校生・中学生
	６人	約５０１万円	約２８９万円	祖母※4 ・両親・本人・公立高校生・中学生
	７人	約５１４万円	約２９８万円	祖父母※4 ・両親・本人・公立高校生・中学生
大 学 院 博士課程	１人	約３１７万円	約１６０万円	本人（独立生計）
	１人	約３８０万円	約２０４万円	本人（私費外国人留学生）
	２人※3	約５０１万円	約２８９万円	親（１人）・本人
	３人	約４７８万円	約２７３万円	両親・本人
	４人	約５４８万円	約３２２万円	両親・本人・公立高校生
	５人	約６０２万円	約３６０万円	両親・本人・公立高校生・中学生
	６人	約６２２万円	約３７４万円	祖母※4 ・両親・本人・公立高校生・中学生
	７人	約６４１万円	約３８７万円	祖父母※4 ・両親・本人・公立高校生・中学生

※１：税金等控除前の年間総収入額（支払金額）。

※２：年間総収入額から必要経費を控除した後の所得額（青色申告の場合は，青色申告控除前の金額）。

※３：母子・父子家庭の特別控除が算入されるため，人数の多い世帯より高い金額となる。

※４：祖父，祖母とも年間１０４万円以下の年金収入のみと仮定。

世帯数が３人以上の場合は，両親のうち，主たる家計支持者の配偶者が１０４万円以内の所得と仮定。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
法文(昼)	法文(夜)	教育学部	社会共創学部	理学部	医学部	工学部	農学部	法文研	教育研	理工学研	医学研	農学研	連農研	SSC

↑該当する所属の番号を上端まで塗ってください

学生証番号								

※提出書類はすべてコピーを保存してください。(様式 1-①)

平成29年度授業料免除申請書

申請学期	年間 ・ 前期 ・ 後期 ・ 変更

フリガナ

氏名

平成　　年度　　月　　入学 ・ 編入学

学 部 □夜間主　　学科

研究科 □修士(博前) □博士(博後)　　課程　　専攻

4月以降の学年	年	性別	男 ・ 女

長期履修学生	通常の履修期間　　年	長期履修期間　　年	長期履修授業料年額　　円

免除を希望する理由　(家庭状況及び免除申請に至った経緯について，具体的に記入してください。)

愛 媛 大 学 長　殿　　平成　　年　　月　　日

別紙関係書類を添え，授業料免除を保証人連署の上，申請します。
なお，申請書又は証明書類に不実な記載等が判明した場合は，許可が取り消されても異議はありません。

申請者本人　氏名

申請書及び証明書類の記載事項を確認した上で，申請を了承します。

保証人署名　氏名　　印
(続柄:　　)　　※保証人自筆・押印のこと

主たる家計支持者が無職・失職中の場合	平成　　年　　月　　日から 生活費の出所:
休学歴のある場合	平成　　年　　月　　日 ～ 平成　　年　　月　　日 理由: 病気 ・ 留学 ・ 経済的 ・ その他(　　)

前回の授業料免除状況	備　考
全免 ・ 半免 ・ 不許可 ・ 申請無し	

本人	住所　〒 E-mail	TEL 携帯	
学資負担者	氏名　　続柄(　　) 住所　〒	TEL 携帯	
保証人	氏名　　続柄(　　) 住所　〒	TEL 携帯	

申請結果の通知先(封筒記入の宛先)	本人住所 ・ 学資負担者住所 ・ その他(　　)

授業料免除申請書(様式1-①) 記入要領

自分が所属する学部・研究科の番号を黒く塗りつぶす。

1	2	■	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
法文(昼)	法文(夜)	教育学部	社会共創学部	理学部	医学部	工学部	農学部	法文研	教育研	理工学研	医学研	農学研	連農研	SSC

↑該当する所属の番号を上端まで塗ってください

学生証番号を記入。

学生証番号 6 2 3 6 X X X A

※提出書類はすべてコピーを保存してください。(様式 1-①)

平成29年度授業料免除申請書

申請学期 (年間)・前期・後期・変更

フリガナ アイダイ ハルオ

氏名 愛大 春男

平成 28 年度 4 月 (入)学・編入学

(学部) □夜間主 (学科)

教育 研究科 □修士(博前) □博士(博後) 総合人間形成 課程 専攻

4月以降の学年 2 年 性別 (男)・女

長期履修学生 通常の履修期間 年 長期履修期間 年 長期履修授業料年額 円

氏名，学年，性別，入学年度，所属の学部，学科を記入。

長期履修学生のみ「通常の履修期間」「長期履修期間」「長期履修授業料

申請学期に○をつける。
年間：「前期」「後期」あわせての「年間」申請。
前期：「前期」のみの申請。前期卒業・後期休学予定者。
後期：「後期」のみの申請。後期入学・復学者。
　　または年間申請受付後，学資負担者の死亡，失職等により家計に急変があり，新たに後期の授業料免除を申請する者。
変更：申請内容に変更のある者。

申請者の立場から免除申請に至った経緯，その理由を具体的に記入。

免除を希望する理

愛媛大学長 殿

提出日を記入。 平成 29 年 3 月 23 日

別紙関係書類を副え，授業料免除を保証人連署の上，申請します。
なお，申請書又は証明書類に不実な記載等が判明した場合は，許可が取り消されても異議はありません。

必ず保証人自筆・押印のこと。

氏名 愛大 春男

申請書および証明書類の記

保証人署名 氏名 愛大 夏男 (愛大)

(続柄: 父) ※保証人自筆のこと

主たる学資負担者が無職または失職中の場合は，いつからその状況にあるのか，生活費の出所を記入。

主たる学資負担者が無職・失職中の場合	平成 年 月 日から 定年・自己都合・解雇・その他( ) 生活費の出所:
休学歴のある場合	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 理由: 病気・留学・経済的・その他( )

休学歴がある場合は，休学期間と理由を記入。

前回の授業料免除状況	備考
全免・(半免)・不許可・申請無し	

本人	住所 〒790-8577 愛媛県松山市文京町○○	TEL 携帯	089-○○○-○○○○ 080-△△△△-△△△△
	E-mail haruo-a@ooooo.ne.jp		
学資負担者	氏名 愛大 夏男 続柄(父)	TEL 携帯	089-○○○-○○○○ 090-××××-××××
	住所 〒790-8577 愛媛県松山市文京町○○		
保証人	氏名 同上 続柄( )	TEL 携帯	同上
	住所 同上		

大学から連絡をすることがあるので，日常的に使っているメールアドレス，電話番号を記入。（携帯が望ましい）

申請結果の通知先(封筒記入の宛先) (本人住所)・(学資負担者住所)・その他( )

学資負担者と保証人が同一人物であれば「同上」と記入。

学資負担者と同居の場合は両方に○。
別居の場合は，一カ所に○。

・黒のボールペンで記入してください。
・訂正がある場合は二重線を引き，訂正してください。
・提出後の閲覧はできません。提出前に必ずコピーをとってください。

㉙ 家庭状況申告書（様式 1-②）

受付番号 [1]

学生証番号 [5]

・ ※箇所は，該当するものを〇印で囲むこと。
・ □ 太枠欄は，大学認定のため記入しないこと。

	氏名	年齢	職業/勤務先 開始年月	給与所得（税込）（千円）	給与所得以外の所得(税込)(千円)
本人			年 月～	[15]	[20]
就学者を除く同一生計家族（就学者は右の「就学者の家族欄」に記入） 父			年 月～	[25]	[30]
母			年 月～	[35]	[40]
			年 月～	[45]	[50]
			年 月～	[55]	[60]
			年 月～	[65]	[70]
			年 月～	[75]	[80]
			年 月～	[85]	[90]

収入状況（千円未満切捨てで記入）

区分＼続柄	本人（千円）	父（千円）	母（千円）	（千円）	（千円）	（千円）	備考
給与所得 給料・アルバイト役員報酬							
年金							
雇用保険							
児童扶養手当							
生活保護							
専従者給与							
給与所得の計							
給与所得以外の所得 商・工業							
農林・漁業							
家賃・地代・利子配当							
親戚等の援助							
その他雑所得							
資産譲渡所得							
山林所得							
給与所得以外の所得の計							

本人

通学区分 [115] 0:自宅 1:自宅外

29年度奨学金給付額（千円） [117]

平成28年度<貸与>奨学金	平成29年度<給付>奨学金（予定）
[116] 1：日本学生支援機構一種(利子なし) 2：〃 二種(利子あり) 3：〃 併用 4：その他の貸与奨学金 名称( )	※貸与奨学金の記入は不要 名称( ) 月額( )千円 ×( )月 期間(平成 年 月～平成 年 月)

就学者の家族（高校生以上は在学証明書等を提出）

続柄	氏名（年齢） 学校名（学年） （前期申請：4月現在 後期申請：10月現在 で記入してください）	設置区分	学校種別	通学区分	国立大学法人・独立行政法人の就学者のみ 28年度授業料免除 前期	28年度授業料免除 後期	授業料年額（千円）
	（ 才） （ 年）	[121] 0:国立 1:公立 2:私立	[122] 0:小学校 4:高専 1:中学校 5:専高 2:高校 6:専門 3:大学	[123] 0:自宅 1:自宅外	[124] 0:無 1:全額 2:半額	[125] 0:無 1:全額 2:半額	[126]
	（ 才） （ 年）	[129] 0:国立 1:公立 2:私立	[130] 0:小学校 4:高専 1:中学校 5:専高 2:高校 6:専門 3:大学	[131] 0:自宅 1:自宅外	[132] 0:無 1:全額 2:半額	[133] 0:無 1:全額 2:半額	[134]
	（ 才） （ 年）	[137] 0:国立 1:公立 2:私立	[138] 0:小学校 4:高専 1:中学校 5:専高 2:高校 6:専門 3:大学	[139] 0:自宅 1:自宅外	[140] 0:無 1:全額 2:半額	[141] 0:無 1:全額 2:半額	[142]
	（ 才） （ 年）	[145] 0:国立 1:公立 2:私立	[146] 0:小学校 4:高専 1:中学校 5:専高 2:高校 6:専門 3:大学	[147] 0:自宅 1:自宅外	[148] 0:無 1:全額 2:半額	[149] 0:無 1:全額 2:半額	[150]

特別控除関係

	続柄			
母子・父子世帯		死亡・生別の別 ※ 死亡・生別	時期 年 月	[201] 0:非該当 1:該当
障がい者のいる世帯	続柄	障がい者手帳等の番号		該当者 [202] 人
長期療養者のいる世帯	続柄	療養期間 年 月から / 年 月から	療養種別 ※入院・通院・自宅療養	療養費年額(円) / 年額合計(千円) [203]
主たる家計支持者別居の世帯	続柄	別居先の住所	特別に支出した金額(円)	[208]
火災・風水害等の被災世帯	被災年月日 年 月 日	被災内容	被害額（円）	[213]

大学認定

家族数	居住地	独立生計	生活保護	学力	選考区分	申請区分
[218] 人	[220] A	[221] 0:無 1:該当	[222] 0:無 1:該当	[223] 0: 不適格 1: 適格	[224] 21	[226] 1:経済的理由 2:学資負担者 死亡 3:火災 4:地震 5:その他

家庭状況申告書(様式１－②)記入要領

家庭状況申告書には，同居・別居を問わず申請者と同一生計家族全員について記入する。同一生計家族とは次の者を示す。
①家計支持者（父母等）と同居している家族
②就学，病気療養等により，家計支持者（父母等）と一時的に別居中である家族
③単身赴任中の家計支持者等

※就職・結婚等により別居別生計の兄弟姉妹等は同一生計家族に含まないため，記入しない。別居別生計の兄弟姉妹等が住民票に記載されている場合は現住所の証明(水道光熱費の領収書，郵便物等)を提出。

※二世帯同居等の完全に別生計である場合，水道光熱費を別々に支払っていることがわかる証明(コピー可)を提出。

学生証番号 5 2 3 6 X X X A ← 学生証番号を記入。

家庭状況申告書

	氏名	年齢	現在の職業(勤務先) 開始年月	給与所得の計 (税込)（千円）	給与所得以外の所得(税込)(千円)
本人	愛大 春男	19	年 月～		
就学者を除く家族（主たる家計支持者に○） 父	愛大 夏男	52	食品小売農業 H２年 4月～		
母	（愛大 松子）		年 月～		
姉	愛大 竹子	25	会社員(○○会社) H19年 4月～		
祖父	愛大 秋男	76	無 職(年金受給) 年 月～		
祖母	愛大 梅子	73	無 職(年金受給) 年 月～		
			年 月～		
			年 月～		

定職に就いている者は記入する。

記入しない。

・就学者を**除く**同一生計家族を記入。
・**就学者はこの欄に記入せず，様式右の「就学者の家族」欄に記入。**
・主たる家計支持者に○をつける。
・父又は母が死亡・生別の場合は，氏名欄を( )とし，その年月等を様式右下「特別控除関係」欄に記入。
・独立生計者で配偶者がいる場合は「父」の欄を「妻(夫)」と訂正のうえ記入。

・年齢，職業，その職業の開始年月を記入。
・職業は「会社員」「公務員」「自営業」など具体的に記入。
・**「専業主婦」「無職」の場合も記入。**
・アルバイト，パート収入のある者は無職としない。

・平成28年分(１月～12月)の所得を記入。
※千円未満切り捨て。
例：156,890 → 156
・給与所得（年金，雇用保険，児童扶養手当，生活保護）は，それぞれ各様式により記入。
・記入した収入すべてについての証明書類を提出。
（源泉徴収票,確定申告書,支払通知書,申立書等）

収入状況

区分	続柄	本人 (千円)	父 (千円)	母 (千円)	姉 (千円)	祖父 (千円)	祖母 (千円)	備考
給与所得	給料・賃金 俸員報酬	380			2,735			
	年金・恩給					520	290	
	雇用保険							
	児童扶養手当							
	生活保護							
	その他（ ）							
	給与所得の計	380			2,735	520	290	
給与所得以外の所得	商・工業		2,710 412					
	農林・漁業							
	家賃・地代・利子配当							
	親戚等の援助							
	内職その他雑所得							
	資産譲渡所得							
	山林所得							
	給与所得以外の所得の計		3,122					

申請者のアルバイトはこの欄に記入。

60歳以上で年金・恩給がない場合は，必ず「なし」と記入。

実家から通学している者及び独立生計者は「１：自宅」に○。

本人
通学区分 ※115 1:自宅 2:自宅外

平成28年度貸与奨学金
1：日本学生支援機構一種(利子なし)
2：〃 二種(利子あり)
3：〃 併用
4：その他の貸与奨学金 名称( )

平成29年度給付奨学金
名称(○○財団奨学金
月額(32)千円 ×（ 12 ）月
期間(平成 29 年 4 月 ～平成 30 年 3月)

平成28年度日本学生支援機構の奨学金貸与者は１～３のいずれかに○。その他の奨学金貸与者は４に○し名称を記入。
平成29年度給付奨学金受給者は，奨学金の名称，給付月額，給付期間を記入。申請予定及び結果待ちの者は(予定)と記入。**平成29年度給付奨学金受給欄には，貸与奨学金(日本学生支援機構等)は記入しないこと。**

就学者の家族（高校生以上は在学証明書等を提出）

続柄	氏名(年齢) 学校名(学年)	設置区分	学校種別	通学区分	国立大学法人 28年度授業料 前期
兄	愛大 冬男 （20 才） 愛媛大学工学部453000A （4年）	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 5:高専 2:中学校 6:高専 3:高校 7:専修 4:大学	1:自宅 2:自宅外	0:無 1:全額 2:半額
妹	愛大 花子 （16才） 愛媛県立○○高等学校 （ 2年）	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 5:高専 2:中学校 6:高専 3:高校 7:専修 4:大学	1:自宅 2:自宅外	0:無 1:全額 2:半額
	（ 才） （ 年）	1:国立 2:公立 3:私立	1:小学校 5:高専 2:中学校 6:高専 3:高校 7:専修 4:大学	1:自宅 2:自宅外	0:無 1:全額 2:半額

次の１～５に該当する就学者の家族を「就学者の家族欄」に記入し，設置区分，学校種別，通学区分の該当番号に○。
1.小･中学校(養護学校含む)
2.高等学校（通信制･専攻科･別科含む）
3.高等専門学校(専攻科･別科含む)
4.大学(専攻科･別科･通信教育部･大学院含む)
5.専修学校(高等課程・専門課程)

※予備校･語学学校等の各種学校生は就学者として扱わないためこの欄に記入せず様式左「就学者を除く家族欄」に記入。

※前期(年間)申請の場合，平成29年4月現在の学年を記入。３月卒業及び４月入学予定の兄弟等に注意。４月の状態が未定の場合は，見込みを鉛筆書きにし，決定後速やかに申し出ること。

兄弟等が愛媛大学生の場合は**学部･研究科及び学生証番号**を記入。

特別控除関係

	続柄		
母子・父子世帯	母	死亡・生別※	時期 平成21年6月
障がい者のいる世帯	続柄	障がい者手帳等の番号	
長期療養者のいる世帯	続柄	療養期間 年 月から 年 月から	療養種別 ※入院･通院･自宅療養 ※入院･通院･自宅療養 / 療養費年額(円)
主たる家計支持者別居の世帯	続柄	別居先の住所	特別に支出している金
火災・風水害等の被災世帯	被災年月日 年 月 日	被災内容	被害額(円)

母子・父子世帯の場合に記入。
様式左の「就学者を除く家族」欄に該当者の氏名をカッコ書きで記入。

障がい者手帳により記入。

療養費が発生する長期療養者(申請時現在６か月以上治療中)がいる場合，「療養費年額」欄に過去１年間の療養費合計を(様式９)により記入。

大学認定

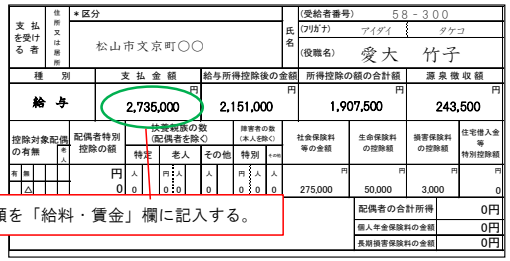
家族数	居住地	独立生計	生活保護	学力	
218 人	220	221 1:該当	222 1:該当	223 1:適格	224 1:一般 2:家計

記入しない。

主たる家計支持者が別居のため特別に支出している住居費及び高熱水道費等の費用を（様式６）により記入。

新入生は授業料納期前１年以内，それ以外は納期前６ヶ月以内に火災・風水害等により被害を受け，長期にわたり著しく困窮状態におかれる場合は，次により金額を記入。
・日常生活を営むために必要な資材に被害を受けた場合:最低限の衣料,家具の購入費,修理費等
・生産手段(田,畑,店舗等)に被害を受けた場合: 長期にわたって収入減が予想される年間金額

●平成28年分 給与所得の源泉徴収票（一部分）



この金額を「給与所得」欄に記入する。

●平成28年分の所得税の確定申告書(第一表の一部分)

この金額を「給与所得以外の所得」欄に記入する。

学生証番号									氏　名	

様式２

支 払（見 込）証 明 書

私は，＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に対し，就業報酬（アルバイト等手当）として 平成　　年　　月　　日 から 平成　　年　　月　　日 までの（　　）か月間に＿＿＿＿＿＿＿＿円を（支払った・支払う見込みである）ことを証明します。

平成　　年　　月　　日

勤務先名

電話番号

住　　所

氏　　名　　印

学生証番号									氏名	

様式 3

年 金 受 給 一 覧 表

・【記入例】を参考に，最新の「年金振込通知書」または「年金額改定通知書」をもとに記入してください。
　○「年金振込通知書」をもとに記入する場合・・・「年金支払額」×「1年間の支給回数」の合計額を記入
　○「年金額改定通知書」をもとに記入する場合・・・年金受給額欄に「合計年金額（年額）」を記入
・ 記入した年金についての「年金振込通知書」または「年金額改定通知書」の(写)※を提出してください。
　※受給者氏名・年金の種類・年金額・発行者・発行日の記載がある箇所
・ 複数の年金を受給している場合，申告漏れのないよう留意してください。

【記入例】

祖父①厚生年金・年6回支給
　②農業者年金・年4回支給
年金振込通知書による記入の場合

祖母③国民年金・年6回支給
年金額改定通知書による記入の場合

番号	氏　名	続柄	年金の種類	振込通知書等の「年金支払額」	年間支給回数	年間受給額	備　考
①	○○□	祖父	厚生年金	215,000 円 ×	6 回	= 1,290,000 円	祖父合計
②	○○□	祖父	農業者年金	42,150 円 ×	4 回	= 168,600 円	1,458,600円
③	○○△	祖母	国民年金	円 ×	回	= 485,000 円	

番号	氏　名	続柄	年金の種類	振込通知書等の「年金支払額」	年間支給回数	年間受給額	備　考
①				円×	回＝	円	
②				円×	回＝	円	
③				円×	回＝	円	
④				円×	回＝	円	
⑤				円×	回＝	円	
⑥				円×	回＝	円	

【年金の種類】
国民年金（老齢基礎・障害基礎・遺族基礎）
厚生年金（老齢厚生・障害厚生・遺族厚生）
共済年金（退職共済・障害共済・遺族共済）
農業者年金，農林年金，互助年金，恩給，その他

【注意事項】
・ 提出する「振込通知書」（写）等には，上記の記入欄の番号①～⑥を記入してください。
・ 通知書（写）がA4サイズよりも小さい場合には，別途A4用紙に貼り付けて提出してください。
・ 通知書が複数枚ある場合は，A4用紙に通知書同士が重ならないよう貼り付けて提出してください。
・「母子・父子世帯申立書(様式10)」に記入した遺族年金は,この用紙には記入不要です。
　祖母が受給している遺族年金は，この用紙に記入してください。

様式 4

在学及び授業料免除状況証明書

各学校等事務担当者　　殿

【証明を受ける者】(授業料免除申請者の兄弟姉妹等)

学　校　名

学生番号等

平成　　年度入学

学生氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，**愛媛大学**に**在学中**の私の兄弟姉妹等（学生証番号：／氏 名：）が，

授業料免除申請するため，私の下記事項について証明願います。

なお，貴学の新入生の場合は，入学後に証明をお願いします。

記

1　在学状況　（平成29年4月1日時点）※該当する事項に「✓」を付してください。

(1)　通学状況：　☐ 自宅　☐ 自宅外

(2)　設置区分：　☐ 国立大学法人　☐ 独立行政法人　☐ 公立　☐ 私立

(3)　学校区分：　☐ 大学，大学院，短大　☐ 高等専門学校　☐ 高等学校
☐ 専修学校（専門課程）　☐ 専修学校（高等課程）
☐ 専修学校（一般課程）　☐ 各種学校　☐ その他（　　）

2　授業料免除状況（国立大学法人又は独立行政法人の学校に在学する者のみ記入）

(1) 平成28年度授業料年額 ＿＿＿＿＿＿＿＿円

(2) 平成28年度の授業料免除実施状況　※該当する事項に「✓」を付してください。

前期分：☐ 全額免除　☐ 半額免除　☐ 不許可　☐ 申請なし
後期分：☐ 全額免除　☐ 半額免除　☐ 不許可　☐ 申請なし

☐　平成29年度入学者につき該当ありません。
（貴学を卒業した者が引き続き大学院に入学・進学した場合は，前年度の状況について証明願います。）

上記のとおり証明します。

平成　　年　　月　　日

学 校 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

様式 5

申　　立　　書

愛 媛 大 学 長　 殿

平成　　年　　月　　日

学　生　証　番　号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学　　生　　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保証人又は保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり申し立てします。

（申立内容）

1　住民票に記載のある家族が何らかの理由により別居，別生計である場合は，その理由を記載すること。兄弟等の就職による場合は，兄弟の新住所，勤務開始日，勤務先を記載すること。

2　その他特に説明を要する事柄

様式 6

学資負担者の単身赴任等に伴う特別支出申立書

平成　　年　　月　　日

別居者氏名　　続柄（　　）

学生証番号

学 生 氏 名

標記のことについて，下記のとおり申し立てます。

記

項　　目	月　　額
住 居 費	千 円 （うち住居費自己負担額　　千円）
光 熱 水 料	千 円
通 信 費	千 円
そ の 他 （家具･家事用品等） （　　）	千 円
合　　計	千 円
年　　額	× 12 ＝　　千 円

（注1） 食費や実家への往復旅費に関する経費は含まない。

（注2） この用紙に，記入の根拠となった**「住居費，光熱水量等の領収書」**及び，
「単身赴任等が確認できる書類（辞令等）」の写しを添付すること。

様式 7

生活保護世帯各種扶助金額計算書

保護者氏名

学生証番号

学 生 氏 名

期 間	月	生活扶助	住宅扶助	教育扶助 (含給食費)	一時扶助 及びその 他の扶助	冬季加算 及び期末 一時扶助	合 計	備 考
	月							
H. 年 月	月							
	月							
～	月							
H. 年 月	月							
	月							
	月							
	月							
	月							
	月							
	月							
	月							
	合 計							

単位:円

・最近1年間の生活保護各種扶助金の実績額を記入してください。
（最新の実績額のある月から遡って，前年にかかる1年分を記入）
・上記計算書に対応した保護決定通知書又は保護変更通知書を添付してください。
（保護決定通知書等がない場合は，通帳のコピーでもかまいません。）

〔記入例〕

期 間	月	生活扶助	住宅扶助	教育扶助 (含給食費)	一時扶助 及びその 他の扶助	冬季加算 及び期末 一時扶助	合 計	備 考
	1 月	101,535	18,400	4,880	16,360	4,920	146,095	
H.28年3 月	2 月	101,727	18,400	4,880	16,360	4,920	146,287	
	3 月	98,220	18,400	4,880	16,360	4,920	142,780	
～	4 月	86,197	18,400	4,880	16,360	0	125,837	基準改定月
H.29年2月	5 月	100,537	18,400	4,880	16,360	0	140,177	
	6 月	103,657	18,400	4,880	16,360	0	143,297	
	7 月	103,637	18,400	4,880	16,360	0	143,277	
	8 月	88,263	18,400	4,880	0	0	111,543	
	9 月	97,530	18,400	4,880	16,360	0	137,170	
	10 月	98,610	18,400	4,880	16,360	0	138,250	
	11 月	97,440	18,400	4,880	16,360	4,920	142,000	冬期加算認定
	12 月	101,727	18,400	4,880	16,360	56,520	197,887	期末一時扶助
	合 計	1,179,080	220,800	58,560	179,960	76,200	1,714,600	

様式 8

転 職 ・ 退 職 等 申 立 書

保護者氏名

学生証番号

学 生 氏 名

申請者と生計を一つにする者に転職・退職等があったので，申し立てます。

続柄	氏　　名	年齢	職業・勤務先・ 役職名・現状等	雇用形態・ 収入形態等	在職期間	収入形態	収入・所得 金額	雇用保険・ 諸手当等
				正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 平　．　．　～ 平　．　．	給　与 給与外	(円)	(円)
				正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 平　．　．　～ 平　．　．	給　与 給与外	(円)	(円)
				正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 平　．　．　～ 平　．　．	給　与 給与外	(円)	(円)
				正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 平　．　．　～ 平　．　．	給　与 給与外	(円)	(円)
				正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 平　．　．　～ 平　．　．	給　与 給与外	(円)	(円)
				正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 平　．　．　～ 平　．　．	給　与 給与外	(円)	(円)

－ 記入上の注意 －

・記載事項に対応した証明書（今年に関係するもの）が必要。証明書が入手不可能な場合は，申立書に記入して提出すること。

・新入生：入学の前年～入学時の間，生計を一つにする家族に，転職・退職・失職等があった場合のみ記入すること。

・在学生：申請の前年～申請時点の間，生計を一つにする家族に，転職・退職・失職等があった場合のみ記入すること。

＜記入例＞

父	*愛田　太朗*	*61*	*○△株式会社事務社員*	(正規)・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	(昭) 平 *62．4．1* ～平 *28．12．31*	(給　与) 給与外	(円) *5,500,000/年*	(円)
〃	*〃*	*〃*	*××株式会社事務社員*	正規・(ﾊﾟｰﾄ)・契約 雇用保険・他	昭 (平) *29．1．1* ～平　．　．	(給　与) 給与外	(円) *120,000/月*	(円)
姉	*愛田　花子*	*24*	*□□新聞臨時雇用*	(正規)・ﾊﾟｰﾄ・契約 雇用保険・他	昭 (平) *26．4．1* ～平 *28．6．30*	(給　与) 給与外	(円) *1,920,000/年*	(円) *100,000*
〃	*〃*	*〃*	*無職，家事手伝い*	正規・ﾊﾟｰﾄ・契約 (雇用保険)・他	昭 (平) *28．7．1* ～平　．　．	(給　与) 給与外	(円) *4,500/日*	(円)

様式 9

長期療養に伴う特別支出申立書

平成　　年　　月　　日

保証人又は保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学　生　証　番　号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学　　生　　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私の家族の長期療養に伴い，特別な支出があったことを申し立てます。

1. 受診者氏名（傷病名）＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

2. 診 察 開 始 日　　平成　　年　　月　　日

3. 診　療　期　間　　入 院：平成　　年　　月　　日 ～ 平成　　年　　月　　日・現在

通 院：平成　　年　　月　　日 ～ 平成　　年　　月　　日・現在

4. 免除対象医療費　　外来＿＿＿＿＿＿円　入院＿＿＿＿＿＿円　合計③＿＿＿＿＿＿円

5. 内　　訳

医療費等対象年月	①自己負担額（食費を除く）		②補填される金額（高額医療費，保険金等）		控除対象医療費 ①－②
	外来分	入院分	外来分	入院分	
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
平成　年　月	円	円	円	円	円
合　　計	円	円	円	円	③ 円

（注1）**診断書**（傷病名・療養の期間（**6か月以上**）を明記したもの）及び**領収書（写）**を**必ず添付**すること。
（注2）**領収書（写）は，ひと月ごとにA4判用紙に貼付し，合計金額を記入してください。**
（注3）免除申請月からさかのぼって，**1年以内の医療費等（食費を除く）を対象**とする。
（注4）家族に2人以上該当者がいる場合，医療費等は合算のうえ記入すること。
（注5）「②補填される金額」は，医療付加金・高額医療費・生命保険金等の合計を記入し，支給明細書等（写）を提出すること。
（注6）記載事項又は添付書類等，**不備の場合は控除にならない場合がある**ので，確認してから提出すること。

様式 10

学生証番号									氏名	

母 子 ・ 父 子 世 帯 申 立 書

	区分		受給の有無	受給有の場合記入
①	児 童 扶 養 手 当		有・無	(月額＿＿＿＿円－支給停止額＿＿＿＿円)×12＝年額＿＿＿＿＿＿円 ・最新の児童扶養手当証書(写)を下段に貼付のこと
②	死別	遺族年金	有・無	振込通知書の金額＿＿＿＿円×年間振込回数＿＿回＝年額＿＿＿＿円 ・最新の遺族年金振込通知書(写)を下段に貼付のこと
	生別	相手方から養育費等の援助	有・無	氏名＿＿＿＿＿＿＿＿続柄(＿＿＿)から援助がある 月額＿＿＿＿＿＿円×12＝年額＿＿＿＿＿＿＿＿円
③	親戚等からの援助		有・無	氏名＿＿＿＿＿＿＿＿続柄(＿＿＿)から援助がある 月額＿＿＿＿＿＿円×12＝年額＿＿＿＿＿＿＿＿円

①～③の「受給の有無」に○をつけ,「有」の場合は右の欄を記入する。

児童扶養手当証書(写)・遺族年金振込通知書(写)貼付位置

様式 11

学生証番号									氏名	

転業・開業による所得(見込)申立書

（平成２８年１月以降転業・開業した者）

事 業 の 内 容	※営業（　　）・農業・その他
開 業 年 月 日	平成　　年　　月　　日

（注）※欄については，いずれかに○をつけ，（　）に具体的な内容を記入してください。

最近３ヶ月の収入（所得）状況

月　別	①収入金額（円）	②必要経費（円）	①－②（円）
年　　月			
年　　月			
年　　月			
合　計			

専従者がある場合は記入してください。

氏　　名	続　柄	従事開始年月日	備　考

様式 12

学生証番号									氏名	

※印の項目は，いずれかに○をつけてください

独立生計者申告書

① **1か月間の平均生活費**　※ 前期及び年間申請では**4月現在**，後期申請では**10月現在** の状況を記入すること。

収入				支出	
項目		本人	配偶者	項目	本人及び家族
定職		円	円	住居費	円
アルバイト		円	円	水道光熱費	円
送金 注)		円	円	食費	円
預貯金等 注)		円	円	書籍・教育費	円
奨学金	金額	円	円	通信費	円
	名称			交通費	円
	受給期間	平成　年　月~平成　年　月	平成　年　月~平成　年　月	雑費	円
援助		（援助者；　　） 円	（援助者；　　） 円	健康保険料	円
		円	円		円
合計		円		合計	円

注） 送金･預貯金 等に記入したときは，通帳等(写)を添付してください。
収入の合計が支出の合計以上である必要があります。

② **上記①(収入)に記載の定職･アルバイトの勤務状況**

	続柄	区分	勤務先	採用年月日	勤務内容	週当労働時間	収入月額
1	本人･配偶者※	定職･アルバイト※		年　月　日		時間	円
2	本人･配偶者※	定職･アルバイト※		年　月　日		時間	円
3	本人･配偶者※	定職･アルバイト※		年　月　日		時間	円

③ **別居の家族**

続柄	氏名	年齢	現在の職業・在学学校	平均年間収入額
				円
				円
				円
				円

様式 13

学生証番号									氏名	

※印の項目は，いずれかに〇をつけてください

無　職　等　の　申　立　書

（就学者，専業主婦，雇用保険受給者，年金生活者は提出不要）

無職の方の氏名	
生　年　月　日	（ 昭和・平成 ※ ）　　年　　月　　日
免除申請者との続柄	
無　職　の　理　由	■失職の場合 ・失職の年月日　（　　年　　月　　日） ・雇用保険の状況※ { ・制度なし ・申請予定（　月　日頃） ・受給終了注)（　　年　月　日）} ■その他の場合 [年　月　日～ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿のため]
備　考 （就業の見通し等）	

注）雇用保険受給終了の場合は，受給者証のコピーを添付してください。
また，雇用保険を申請予定の方は，受給者証が発行され次第コピーを提出してください。
アルバイト収入がある場合は，無職として扱いません。収入に関する書類を提出してください。

様式 14

被　災　状　況　申　立　書

氏　　名	男・女	学　部 研究科 専攻科	学　科 課　程 専　攻
生年月日　　年　　月　　日			

被　災　状　況　内　訳

被害状況	自　宅		店舗・工場・倉庫				
	全　壊	戸　数　戸	業種（　　）被害状況（全壊・半壊・浸水）				
	半　壊	築年数　年	損害額	建　物	原料・在庫	機械等	合　計
	床上浸水	床面積　㎡					
	床下浸水	損害額　千円		千円	千円	千円	千円

区分	作物等	面積・数	平成　年分（千円）			平成　年分（千円）			損害額（千円）
			粗収入	必要経費	実収入	粗収入	必要経費	実収入	
田		a							千円
畑		a							千円
果樹		a							千円
		頭							千円
家畜		頭							千円
漁業									千円

災害による学生本人又は主たる家計支持者の傷病等

氏　名	続柄	傷病名	入院・加療等
			（入院・加療）（平成　年　月 ～ 平成　年　月） （入院・加療）（平成　年　月 ～ 平成　年　月）

保険・損害賠償等による補填

区　分	保険会社名	被保険者	受取保険料（千円）
家　屋			千円
店舗・工場等			千円
			千円
農作物等			千円
			千円
家計支持者			千円
			千円
学生本人			千円
			千円
公的機関等からの補償・援助等	機関名		
	機関名		

（被害の具体的な状況等）

以上の内容に相違なく，ここに申立ていたします。

主たる被害者

住　所

氏　名　　印

別紙 1

学生証番号									氏名	

源泉徴収票等の貼付台紙

○家庭状況申告書の記載順（本人･父･母 …）に見やすく貼付してください。
○源泉徴収票同士が重ならないように貼付してください。
　この様式１枚に収まらない場合は，裏面を使用するか，この様式を複数枚使用して貼付してください。
○文字の不明瞭なものは受け付けることができません。縮小コピーはしないでください。
○必ずコピーを保管しておいてください。

貼　付　位　置	本人との続　柄

貼　付　位　置	本人との続　柄

別紙 2

学生証番号									氏名	

生徒手帳(写)・障がい者手帳(写)・領収書(写)等の貼付台紙

○Ａ４より小さい場合に，重ならないように貼付してください。
○１枚に収まらない場合は，裏面を使用するか，この様式を複数枚使用して貼付してください。

貼　付　位　置	本人との続　柄

貼　付　位　置	本人との続　柄

◆平成29年度授業料免除申請チェックリスト　(1/2)

申請書類を提出する前に，最終確認をしてください。

全員が提出する書類

次の書類は揃っていますか？	「✔」をつける	
授業料免除申請チェックリスト（本紙/□欄に「✔」済み）	□いいえ	□はい
授業料免除申請書(様式1−①)	□いいえ	□はい
家庭状況申告書(様式1−②)	□いいえ	□はい
82円切手（結果通知用）	□いいえ	□はい
住民票謄本（原本/「世帯全体のもの」と記載されたもの）	□いいえ	□はい
平成29年度所得証明書(原本/同一生計家族全員分)**【※】** (学部新入生を除く申請者本人・無職・年金生活者・専業主婦も必要)	前期（年間）申請は後日提出	

【※】所得証明書に関する注意
平成29年度所得証明書は各市町村役場でおおむね
平成29年5月下旬以降に発行が開始されるため，
前期(年間)申請の場合は後日（指定の期間内）
担当窓口へ提出してください。

【所得証明書提出期間】
平成29年5月19日（金）～6月15日（木）　**締切厳守**
（申請のしおりP.2,3参照）

該当者が提出する書類

申請者本人についてお答えください。	「✔」をつける		「はい」に「✔」がある場合の提出書類。揃ったら「✔」をつける。
平成28年中にアルバイトをしていますか？	□いいえ		
		□はい	□平成28年分源泉徴収票のコピー （源泉徴収票等の貼付台紙（別紙1）に貼付） または支払(見込)証明書（様式2）
平成29年4月時点で留年，または修業年限を超えていますか？	□いいえ		
		□はい	**※原則申請できません。病気・留学等の特別な事由がある場合は申請が認められることがありますので，担当窓口へ確認してください。** □最短修業年限超過者等の授業料免除申請事由調査書（様式15）
平成29年度給付（返還不要）奨学金受給者ですか？	□いいえ		
		□はい	□奨学金採用通知書のコピー （申請中または申請予定であれば採用が決まり次第提出）
他大学出身で平成29年度本学大学院の新入生ですか？	□いいえ		
		□はい	□出身大学の成績証明書
次の条件をすべて満たし，独立生計者として申請しますか？ ・大学院生または法文学部夜間主コースの社会人学生 ・所得税法上，父母等の扶養親族ではない ・父母等と別居している ・本人（配偶者）に生活十分な収入があり，その所得証明が発行される	□いいえ		
		□はい	□独立生計者申告書（様式12） □本人（配偶者）が被保険者である健康保険証のコピー （別居の父母の扶養に入っていないことが確認できるもの） □本人（配偶者）の平成28年分源泉徴収票または確定申告書

申請者と同一生計の家族についてお答えください。	「✔」をつける		「はい」に「✔」がある場合の提出書類。揃ったら「✔」をつける。
平成28年1月1日から申請時，継続して同じ職場で働いている給与所得者（会社員・公務員・パート・アルバイト）はいますか？	□いいえ		
		□はい	□平成28年分源泉徴収票のコピー （源泉徴収票等の貼付台紙（別紙1）に貼付） または支払(見込)証明書（様式2）
自営業の方及び事業・配当・不動産・雑所得の所得者はいますか？	□いいえ		
		□はい	□平成28年分確定申告書控え(第一表と第二表)(コピー) □青色申告の場合は「青色申告決算書」(コピー) 白色申告の場合は「収支内訳書」(コピー) □または平成29年度市民税・県民税申告書控え(コピー)
平成28年1月1日以降，転職・退職した方はいますか？	□いいえ		
		□はい	□転職・退職等申立書（様式8） □平成28年分源泉徴収票または支払(見込)証明書（様式2） または給与明細のコピー(直近3ヶ月分)
雇用保険受給者はいますか？	□いいえ		
		□はい	□雇用保険受給資格者証（一面と三面）のコピー
傷病手当受給者はいますか？	□いいえ		
		□はい	□傷病手当金支給決定通知書のコピー
平成28年1月1日以降，新規に就職した方はいますか？	□いいえ		
		□はい	□平成28年分源泉徴収票または支払(見込)証明書（様式2） または給与明細のコピー(直近3ヶ月分)
平成29年4月1日以降，新規就職予定の方はいますか？	□いいえ		
		□はい	□支払(見込)証明書（様式2） または就職先の給与額がわかる書類（求人票等）
平成28年1月以降の転業・開業者はいますか？	□いいえ		
		□はい	□転業・開業による所得(見込)申立書（様式11）

続きあり ⇒

◆平成29年度授業料免除申請チェックリスト　(2/2)

	「✔」をつける		「はい」に「✔」がある場合の提出書類。揃ったら「✔」をつける。
年金受給者はいますか？	□いいえ		
		□はい	□年金受給一覧表（様式3） □最新の年金振込通知書または年金額改定通知書
18歳以上で無職の方はいますか？ （就学者・専業主婦・年金受給者・雇用保険受給者を除く）	□いいえ		
		□はい	□無職等の申立書（様式13） ※学資負担者が無職の場合は生活費の出所を記入。
国立大学生の兄弟姉妹はいますか？	□いいえ		
		□はい	□在学及び授業料免除状況証明書（様式4）
高校生，公・私立大学生，専門学校生・専修学校生の兄弟姉妹はいますか？	□いいえ		
		□はい	□在学及び授業料免除状況証明書（様式4） または在学証明書または学生証(コピー)
予備校生・各種学校生の兄弟姉妹はいますか？	□いいえ		
		□はい	□在学証明書または卒業した高校等で補修を受けている証明書
母子・父子世帯ですか？	□いいえ		
		□はい	□家庭状況申告書(様式１－②)母子・父子世帯欄に記入 □母子･父子世帯申立書（様式10） □最新の児童扶養手当証書コピー（受給者のみ）
障がい者はいますか？	□いいえ		
		□はい	□家庭状況申告書(様式１－②)障がい者のいる世帯欄に記入 □障がい者手帳のコピー
長期療養者（6ヶ月以上継続し医療費を支払い現在も通院・入院中）はいますか？	□いいえ		
		□はい	□家庭状況申告書(様式１－②)長期療養者のいる世帯欄に記入 □長期療養に伴う特別支出申立書（様式9） □医師の診断書 □診断書に関する治療費の領収書（食費等は含まない） □保険で補填されているものがあればその給付通知書
生活保護世帯ですか？	□いいえ		
		□はい	□生活保護世帯各種扶助金額計算書（様式7） □直近1年間分の保護決定（変更）通知書のコピー （4･11･12月分及び受給額変更月のもの） （様式7に記入する金額が証明できるもの）
学資負担者は家族と別居（単身赴任等）してますか？	□いいえ		
		□はい	□家庭状況申告書(様式１－②)主たる家計支持者別の世帯欄に記入 □学資負担者の単身赴任等に伴う特別支出申立書（様式6） □別居先の住居費及び光熱･水道費の領収書（写）（直近１年間） □単身赴任が証明できるもの（辞令等）(コピー)
申請前6ヶ月（新入生は1年）に学資負担者が亡くなられましたか？	□いいえ		
		□はい	□除籍抄本，死亡診断書，埋葬許可書のいずれかひとつ（写）
申請前１年間に本人または学資負担者が風水害等の災害を受けましたか？	□いいえ		
		□はい	□家庭状況申告書(様式１－②)火災・風水害等の被災世帯欄に記入 □被災状況申立書（様式14） □罹災証明書及び被害金額を証明する書類 □保険金等支払(見込)額を証明する書類
住民票の住所と現住所が異なる家族（申請者及び就学者の兄弟姉妹を除く）がいますか？	□いいえ		
		□はい	□申立書（様式5）にその理由や経緯，現住所を記入 □現住所が確認できる書類（公共料金の領収書，郵便物等）
その他特に説明を要する事項がありますか？	□いいえ		
		□はい	□申立書（様式5）に記入

最後に確認してください。	「✔」をつける		
提出する書類のコピーはとりましたか？	□いいえ		提出された書類は貸出・返却不可となっています。
		□はい	
申請書類に不備があった際，大学から申請者へ連絡をすることがあります(授業料免除申請書（様式1-①）に申請者が記入した連絡先宛)。着信があれば応答するか，折返しの電話をするようにしてください。(担当窓口の電話番号は申請のしおりP.1参照)	□いいえ		連絡がとれなければ申請者の不利益に繋がる恐れがあります。担当窓口の電話番号を携帯電話に登録する，連絡先を変更した際は申し出るなど，注意してください。
		□はい	

申請書類の先頭に，このチェックリストを揃え提出してください。